

田中です



大崎町協力隊通信 vol. 12



『「竹・福・商」連携による大崎町「竹の資源化」モデル』

【活動概要】

障がい者や高齢者が、竹林を手入れし刈った竹を竹炭(土壌改良材)にし、それを撒いた畑でできたサツマイモ(紅はるか)を干し芋に加工して販売。

障害者就労支援施設(社会福祉法人愛生会、ひふみよベースファーム大崎)、地域住民(宮園自

治公民館)、食品加工業者(株式会社コーセン)、大崎町社会福祉協議会、慶應義塾大学、大崎町役場の協働による新たな農福連携を展開。

※地域づくり表彰: 地域間の連携と交流による地域づくり活動を奨励するため、地域づくり活動の優良事例を国土交通省が表彰(昭和59年~、今年で40回目)

「国際結婚って??」をテーマに、大崎町社会福祉協議会主催の「幸励者ふれあい交流会」、在郷自治公民館でお話させていただきました。私たちの日常を聞いて、面白いかな??と疑問を持ちながらおじゃまさせていただきましたが、終わったあとは、たくさん質問をいただいたり、「面白かった!」「新鮮な話ですごく勉強させてもらった気分です!」などのお声をいただいて、こちらの方が嬉しくなりました。

後日、在郷自治公民館でのコスモス祭りにもおじゃまして美味しい豚汁とおにぎり・お漬物をいただきました。最高でした!ありがとうございました。

